

会員の受賞

吉田 純一 氏 (A46、福井工業大学客員教授) 「福井県文化賞」

2026年2月7日の「ふるさとの日」に福井県から「文化賞」を授与されました。この賞は地域の学術文化活動において顕著な功績を挙げた個人・団体に対して授与されるものです。吉田氏は日本建築史が専門で、長年福井工業大学教授として県内外の城郭を中心に研究・教育に携わり、また地域・行政と連携した文化の保存・継承活動に貢献してきました。特に近年では「福井城の復元をすすめる会」会長として福井城山里口御門や坤櫓(ひつじさるやぐら)などの考証や復元に尽力されてきました。

岩井 善郎 氏 (IM47、名誉教授、(元) 理事・副学長、機械工学 教授) 日本トライボロジー学会「2024 年度技術賞」

2025年5月に開催された日本トライボロジー学会総会で、本学工学部の岩井善郎名誉教授、福岡慎治准教授、高澤拓也専門技術職員等が開発した材料表面下微細構造可視化技術「i-MSE法」に対して2024年度技術賞が贈られました。同学会は摩擦摩耗・潤滑に関わる科学技術の研究者・技術者から成る組織で、「技術賞」は新製品開発に関わって独創性・新規性があり、社会への貢献が期待される技術に贈られるものです。i-MSE法は岩井氏が2000年頃に開発した技術を進展させた手法で、メッキなどの薄膜の断面構造と厚み・強度を同時に検査できる技術です。表彰の対象になったポイントは、そのi-MSE法により得られた試験評価結果に基づいて薄膜のミクロな断面状態を視認できるようにした事です。